

11 月 30 日に、西区のひなた助産院に 10 月に設置された地産地消型で蓄電池付太陽光発電システムを見学しました。施工したワット神戸の真鍋様、ひなた助産院の大内様に説明をしていただきました。山田、水上、福田、山口、富田、長濱、今橋、香川、岡本が参加。

蓄電池付の太陽光発電システムの目的

こどもたちの未来のための地球温暖化防止
停電時の非常用電源

設備の概要

- 発電出力 15.4kW シャープ 製
- 太陽電池モジュール 単結晶シリコン
- パワーコンディショナ 4.5kW 2 台
- ハイブリッドパワーコンディショナ 4.2kW 1 台
- クワッド蓄電池 4.2kW 1 台
- モーター 1 式

太陽光発電システムの設定、

自家消費を主として余剰があれば売電する。
クワッド蓄電池への充電は太陽光発電から行う設定。
停電時は、配電盤にあるブレーカを手動で切り替えてクワッド蓄電池から電気を分岐室に供給する。



太陽電池モジュール
220W 70 枚



配電盤

切り替え用ブレーカ



パワーコンディショナ

ハイブリッド
パワーコンディショナ
蓄電池にも対応



屋根 東南向き 傾斜角 11°
がリバニウム鋼板葺きであり、工事期間 2 日



クワッド蓄電池
リチウムイオン



モニタ

運転状況
売電・買電状況
電池の使用状況
など